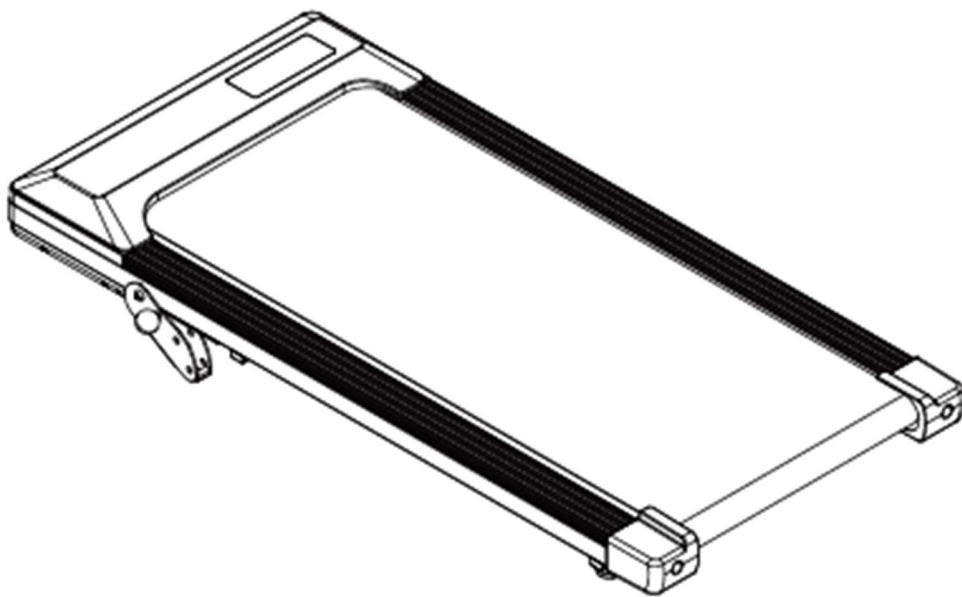


ルームウォーカーWOT

商品コード：TO-RW-W



ご使用前にご確認ください。

内容

1. 注意事項
2. 安全に関するお知らせ
3. 使用上の注意
4. 技術仕様
5. 部品リスト
6. 製品チャート
7. 手動傾斜調整
8. ディスプレイ
9. リモコン
10. ランニングベルト調整
11. 日常のメンテナンス
12. ウォーキングベルトとデッキの潤滑
13. ワークアウトルーチン
14. トラブルシューティング

1,注意事項

傷害を避けるために、使用する前にこのマニュアルをよく読んでください。



- 安全の為本体の近くに物を置かないでください。
- 体調がすぐれないときはご使用を控えてください。
- 速度は一気に上げず、ゆっくり調整してください。
- 使用中にベルトの張りなどの調整は行わないでください。
- 本機を使用する際は靴を履き、裸足や靴下での使用は行わないでください。
- お子様、高齢者、妊婦のご利用はお控えください。
- 本商品は簡易商品の為長時間の利用には適しておりません。
- 本商品は医療目的での利用はできません。

2,安全に関するお知らせ

本商品は平らな場所へ設置してください。又、以下の場所への設置はお控えください。

- ① 屋外（本商品は室内専用です。）
- ② 傾斜地
- ③ 直射日光の当たる場所若しくは暖房器具の近く
- ④ 騒音が多い場所（本商品の異音が聞こえない場所）

電源が安定していない場合、エラーが発生する場合があります。

同じコンセントで電源が安定しない機器（PC、エアコン等）を使用しないでください。

本商品に水滴などを落とさないでください。万が一落ちた場合、電源を落とし、しっかりと水分をふき取ってください。

電源コードが破損した場合、安全の為使用を中止し、購入元へご連絡ください。

オイルボトルはお子様の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、目に入った場合は、水で洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。

トレッドミルの両側と前面には 1m (1000mm)、背面には緊急時の飛び出しスペースとして 2m×1m (2000mm×1000mm) のスペースを確保してください。

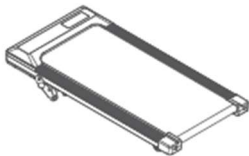
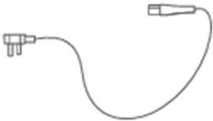
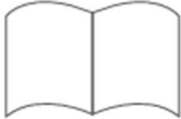
3,使用中の注意事項

- ご使用前に体調が優れない場合は、医師またはコーチにご相談ください。
- お客様による不適切な使用により身体に傷害が生じた場合、当社は責任を負いません。
- ご使用後はプラグを抜いてください。
- 機器の移動や部品の交換は、必ずプラグを抜いてください。
- 機器は平らな場所に設置してください。機器の後方 2m 以内に物を置かないでください。
- 水滴が機器、特にモーター、電源コード、プラグに入らないようにしてください。
- 使用中にロングドレスなど不適切な服装を着用すると危険です。
- 密閉された空間、空気の循環がされていない場所、可燃性の場所では使用しないでください。
- 本機の上に物を置かないでください。
- プラグを加熱された場所や火気のある場所から遠ざけてください。
- 使用後はすべての機能をオフにし、プラグを抜いてください。
- 本機の起動中は、ベルトの上に直接立たないでください。
- 専門家の指示なしに本機を分解しないでください。
- 使用前にランニングベルトがしっかりと固定されていることを確認してください。運動中は、本機の上で飛び跳ねないでください。転倒による怪我の原因となります。
- 本機は必ずアースに接続してください。故障が発生した場合、アースを接続することで電流抵抗が最も少ない経路を確保し、感電のリスクを軽減します。

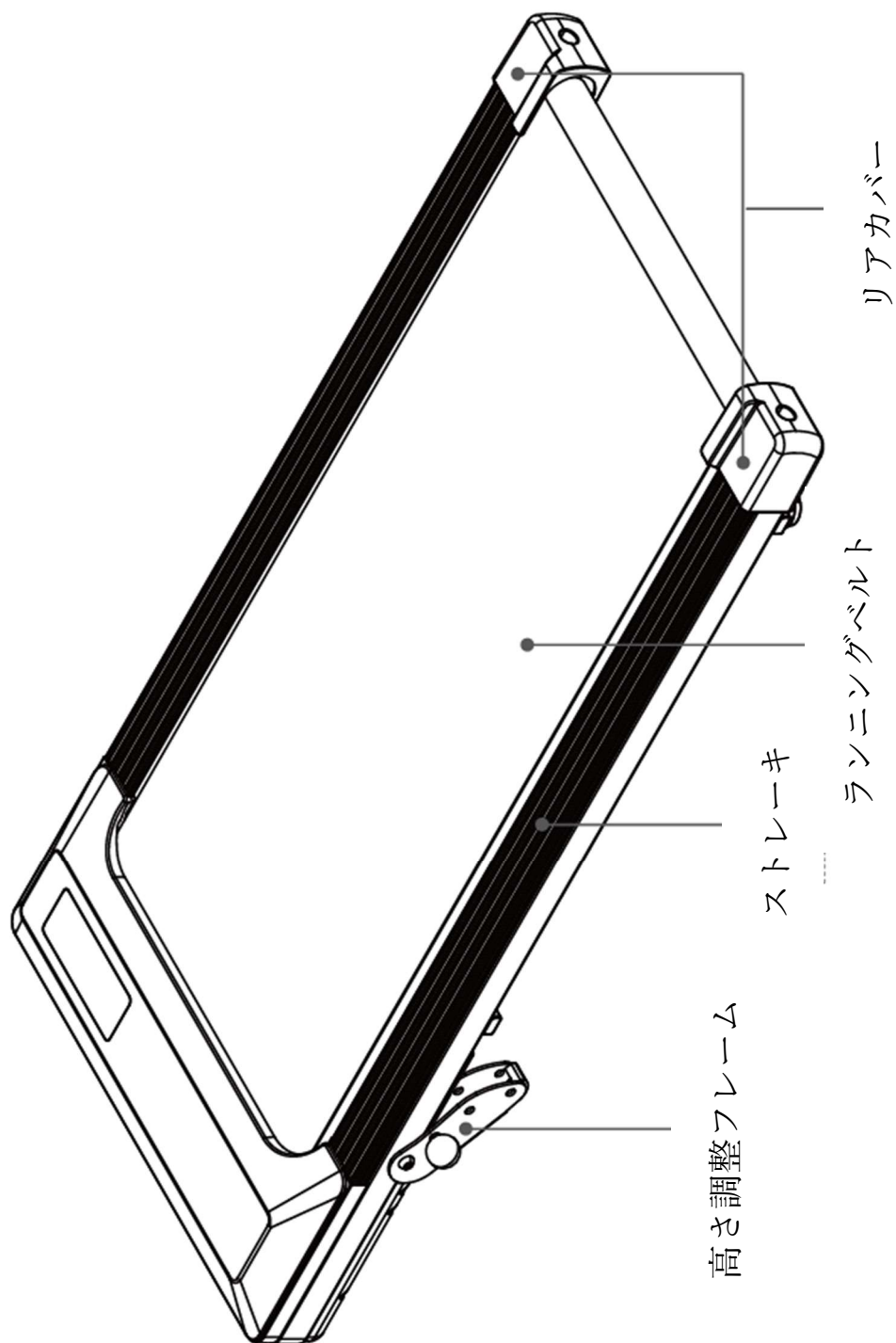
4,技術仕様

商品名	ルームウォーカーWOT
商品コード	TO-RW-W
パワー	0.65HP
ボルト	220-240V
周波数	50Hz
スピード	最小 1 km/h～最大 6 km/h
使用者重量	100KG まで

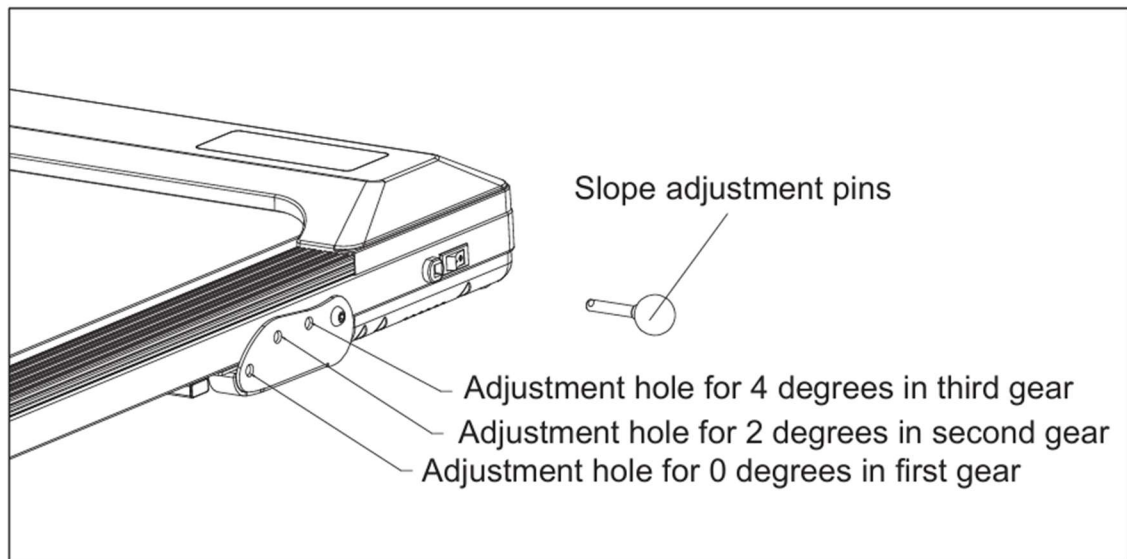
5,パーツリスト

No	名称	イラスト	数量
1	メインフレーム		1
2	コード		1
3	リモコン		1
4	6mm L レンチ		1
5	シリコンオイル		1
6	本紙		1
7	ピン		2

6,製品チャート



7,手動傾斜調整

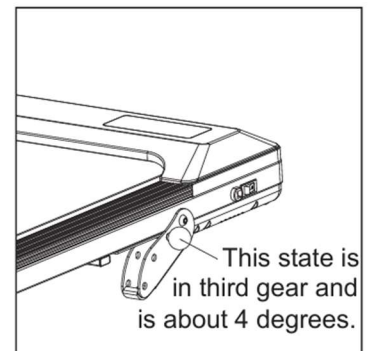
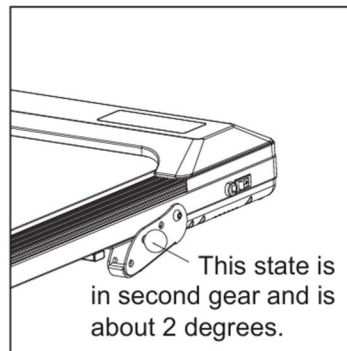
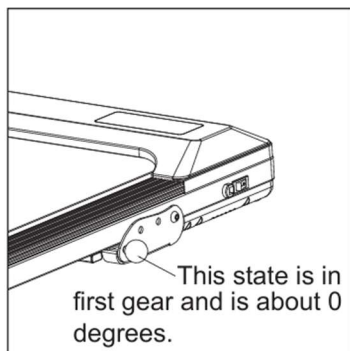


本機は最大 4 度、3 段階で角度の調整が可能です。

本機の片側を持ち上げて角度調整部品を下に下げピンを差し込んで調整を行ってください。

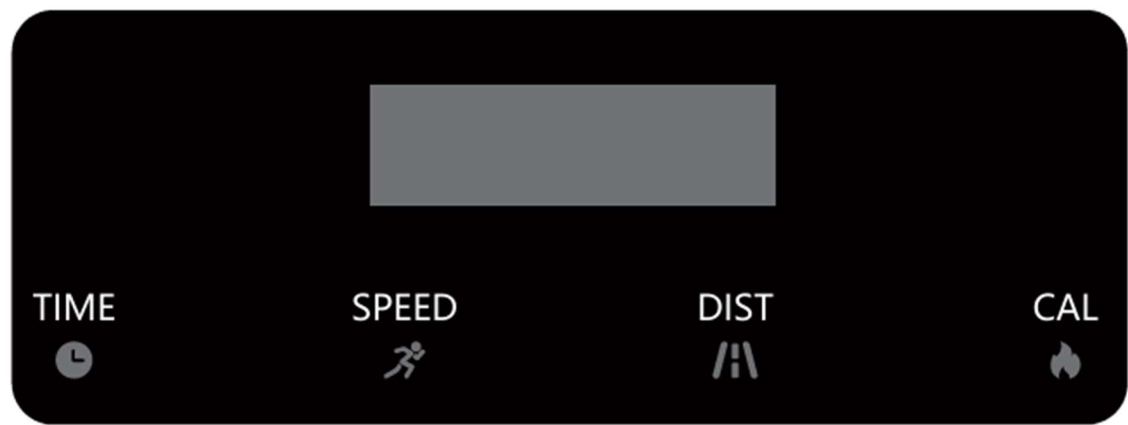
角度は 0, 2, 4 度で調整が可能です。

※ピン差し込み後、しっかりと刺さっていることを必ず確認してください。



8,ディスプレイ

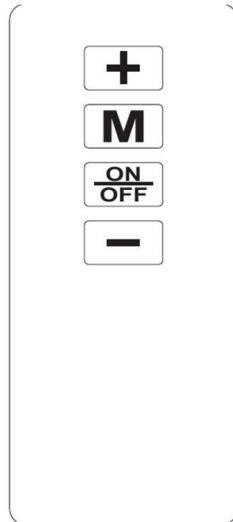
マシン稼動中は、5 秒ごとに自動的に切り替わります。
画面下部のランプは、画面表示に合わせて変化します。
各画面で表示される情報は以下の通りです。



- 【TIME】 運動継続時間を表示します。
- 【SPEED】 走行時の速度を表記します。
- 【DIST】 走行距離を表示します。
- 【CAL】 消費カロリー値を表示します。

パラメーター	初期値	表示範囲
TIME	0	0：00-99-59
SPEED	1	1-6 Km/h
DIST	0	0-99.99 Km
CAL	0	0-999.9 ※目安値です。

9, リモコン



+ボタン=このボタンを押すと 0.1 k m / h ずつ速度が増加します。

長押しをすることで速度アップのショートカットが可能です。

Mボタン=このボタンを押すとカウントダウンモードに切り替えができます。

切り替えと使用方法

ON/OFF ボタンを 1 回押し電源を入れてから『M』を 1 回押すと時間のカウントダウン設定、2 回押すと距離 (k m) カウントダウンモード、3 回押すとカロリーカウントダウンモードに以降します。

設定時は点滅状態となり『+/-』で時間の増減を行い、設定後ON/OFF ボタンを再度押すとカウントダウンモードで始動します。

カウントダウン目標値に達すると自動で停止します。

ON/OFF ボタン=電源の出力、スタート、停止を行います。

1 回押すと電源が起動し、2 回押すと走行を開始します。

カウントアップモード時、ベルト稼動中に押すと可動がゆっくり停止します。

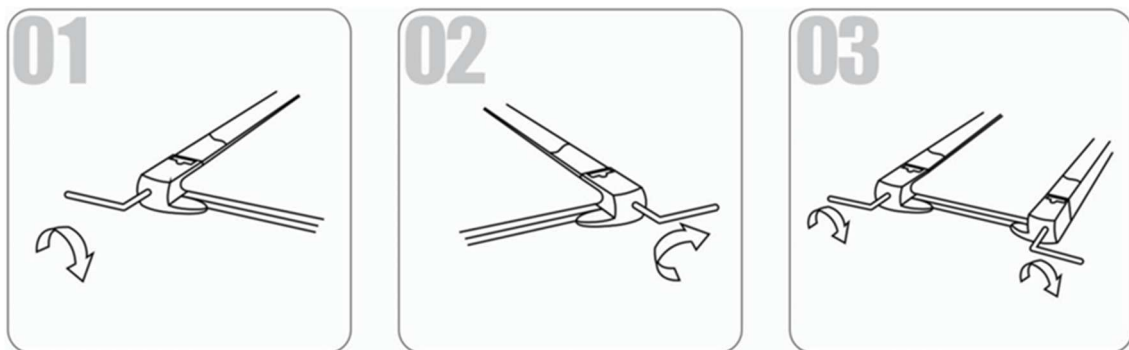
-ボタン=このボタンを押すと 0.1 k m / h ずつ速度が減少します。

長押しをすることで速度ダウンのショートカットが可能です。

※走行停止はリモコンのみで操作可能です。

走行中は手元に置くか、運動終了時に後方から離脱してください。

10,ランニングベルト調整



① 走行ベルトが左によれる場合

マシンを 2~3 km/h で稼働した状態で、図 01 側を L レンチで少し回し 1~2 分走行させ症状の改善を確認します。

症状が改善しない場合、さらに回して再び 1~2 分ほど様子を観察してください。

② 走行ベルトが右によれる場合

マシンを 2~3 km/h で稼働した状態で、図 02 側を L レンチで少し回し 1~2 分走行させ症状の改善を確認します。

症状が改善しない場合、さらに回して再び 1~2 分ほど様子を観察してください。

③ ベルトの固着（動かない）場合

走行モードにしてもベルトが動かない場合、図 03 のように左右のネジを L レンチを使用して調整し、稼働することを確認してください。

11. 日常のメンテナンス

マシンの清掃時は電源を切ってから行ってください。

マシンの清掃時は水などの使用はお控えください。

ベルト・パネル部分はこまめに清掃し、ほこりがたまらないようにしてください。

モーター部分に異常な熱が発生していないか日頃確認してください。

ネジなどはこまめに確認し、緩んでいたら締め直してください。

11,ウォーキングベルトとデッキの潤滑

トレッドミルのデッキ（ベルトの下にある歩行面）は適切に手入れすることが重要です。ベルトとデッキの摩擦はトレッドミルの機能や寿命に影響を与える可能性があり、定期的な潤滑が必要となるからです。



以下の表を参考に、ランニングデッキの潤滑を行ってください。

ユーザーの種類	週あたりの運動時間	給油頻度
軽度使用者	3 時間未満	年に 1 回
中度使用者	3～5 時間	6 ヶ月に 1 回
ヘビーユーザー	5 時間以上	3 ヶ月に 1 回

12,トラブルシューティング

エラーコード	問題点	対策
E 1	ディスプレイパネルがコントローラー信号を受信しません。	1：上下の制御接続線がしっかり接続されているか確認してください。接続が不十分な場合は、線をバックルに差し込んで問題を解決してください。 2：接続線の外観にねじれや被覆の剥がれがないか確認してください。これらの現象が見られる場合は、接続線を交換する必要があります。
E 2	モーター配線の断線、またはモーターの損傷によるエラーです。	モーターの配線接続部分に異常がないかご確認ください。接続部分に異常がない場合は、モーターから異臭や焦げたような臭いがしないかご確認ください。これらの問題がある場合は、モーターを交換する必要があります。
E 3	これは過電圧保護およびバースト保護のためのコードです。	入力電圧がコントローラーの定格電圧と一致しているか、ディスプレイボードの走行距離表示がコントローラーの走行距離表示と一致しているかを確認してください。電源投入直後にこのコードのエラーが表示される場合は、コントローラーを交換してください。
E 4	このコードは、上位制御および下位制御の速度通信制御ラインにおける異常な断線、または接続不良の故障を示します。	上下の制御接続ラインのコネクタに接触不良がないか、または断線していないかをご確認ください。断線している場合は、接続ラインを交換してください。
E 5	このエラーコードは、過電流保護、または過負荷保護に関するものです。	電源をオフにしてから、再度電源を入れてください。
E 6	このエラーは過負荷保護によるものです。	コントローラーのヒューズ、またはコントローラー本体を交換してください。
E 7	安全ロックに関するエラー： マグネットが安全スイッ	例えば、安全ロックエリアに安全ロック用マグネットが取り付けられていない場合、安全ロック構成用マグネットを取り付けてください。

	チの固定位置にない、または 内部安全ロックの配線が断線している。	方法 2：構成用マグネットが安全ロックエリアに取り付けられているにもかかわらずエラー E7 が表示される場合は、安全ロックモジュールとコントロールボード間の接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。接続が外れている場合は、接続ケーブルを差し直してください。
E 8	このエラーコードは、デュアルディスプレイ搭載モデルでのみ表示されます。このエラーは、手すりモデルのキーパッド表示基板とメイン制御表示基板間の通信エラーを示すコードです。	接続ケーブルのコネクタがしっかりと差し込まれているか、 またはケーブルが断線していないかを確認してください。 断線している場合は、接続ケーブルを交換してください。